



星座図 (長崎歴史文化博物館収蔵)

# 惑星は、長崎で誕生しました。

出島が西洋との唯一の窓口であった時代。阿蘭陀通詞(おらんだつうじ)は単なる通訳ではなく、西洋の医学、物理学、天文学などに精通したサイエンティストでもありました。コペルニクスが唱えた地動説を初めて日本に紹介したのも、阿蘭陀通詞の本木良永です。天文学のスペシャリストだった本木家には、写真の図版『本木旧蔵新天球図』がずっと大切に保存されていました。さて、地動説を紹介した本木良永の、もうひとつ功績。それは、「惑星」という言葉を生み出したこと。天空において、あっちへこっちへと動く天体を、“惑える星”という日本語にしたのは、まさに名訳ですね。あちこちに近代科学の礎を見つけることができるのも、長崎の魅力です。

## 西洋科学の窓口阿蘭陀通詞

長崎で、会いましょう。